

抗GAD抗体

監修
東京都済生会中央病院
糖尿病・内分泌内科
医長 及川洋一

糖尿病の治療中でも抗GAD抗体が測定できることをご存知ですか？



1型糖尿病の疑い…

この人…
緩徐進行1型糖尿病
かも…？

血糖コントロールが
うまくいかない…

2型糖尿病として治療中の方に、緩徐進行1型糖尿病 (SPIDDM) が隠れていることがあります。
抗GAD抗体の測定は緩徐進行1型糖尿病の診断に有用です*。

※緩徐進行1型糖尿病 (SPIDDM) の診断基準 (2012) : 糖尿病56 (8) , 590-597, 2013

算定要件

すでに糖尿病の診断が確定した患者に対して1型糖尿病の診断に用いた場合
又は自己免疫介在性脳炎・脳症の診断に用いた場合に算定できる

緩徐進行1型糖尿病 (SPIDDM) の臨床的特徴

- 経口血糖降下薬による治療効果が現れにくい
- 血糖コントロールがうまくいかない
- 糖尿病の家族歴がない
- 肥満がない (平均BMI 22kg/m²)
- 自己免疫性甲状腺疾患の既往がある

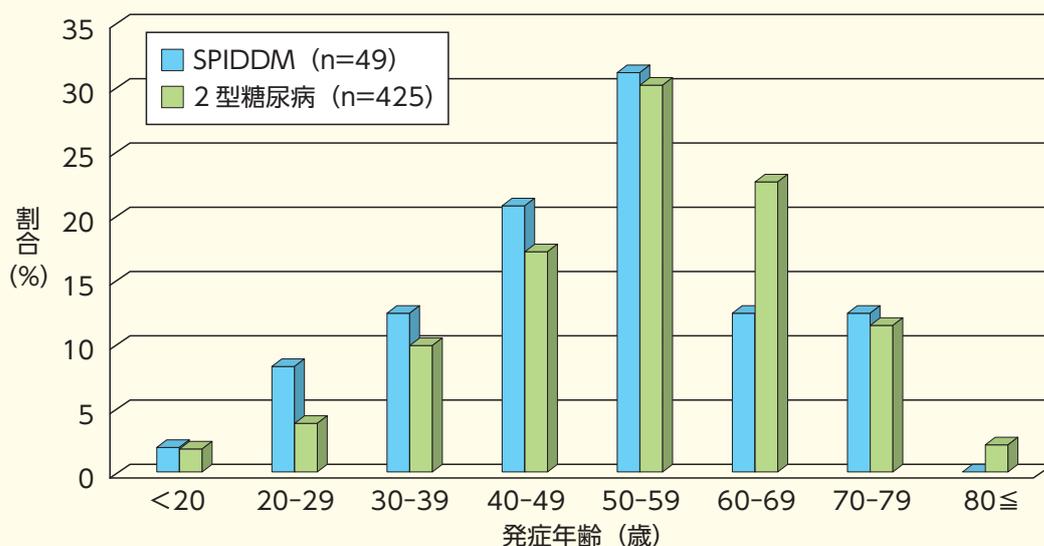
引用：糖尿病54 (1), 65-75, 2011

このような場合はSPIDDMかもしれません。

2型糖尿病と同様、SPIDDMは中高年で発症頻度が高いとされています。

SPIDDMならびに2型糖尿病患者の発症年齢分布

-日本糖尿病学会1型糖尿病調査研究委員会報告-



(平均発症年齢 SPIDDM: 51.1歳、2型糖尿病: 53.4歳)

改変引用：糖尿病54 (1), 65-75, 2011